福貿発１００１号
令和８年３月２５日

各　位

福岡商工会議所

（ご案内）「India–Japan Startup Day in Fukuoka」
インドスタートアップ企業との交流会の開催について

平素より当所の事業運営に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当所は在福岡インド総領事館、インド工業連盟（CII）・CIESとの共催により、インドの成長期スタートアップ（Series A/B中心）を福岡に迎え、交流・意見交換を行う「India–Japan Startup Day in Fukuoka」を開催いたします。

本イベントは、当所国際委員会が本年１月から２月にかけて実施した「インドミッション」を契機に開催を決定したものです。

当日は、AI、人材、物流・サプライチェーン、マーケティング等の分野で事業展開を行うインドのスタートアップ１６社が来福し、ピッチおよびネットワーキングを通じて、福岡の企業の皆様と直接交流する機会を設けております。また、交流会では、①インド市場・最新イノベーショントレンドへの理解促進、②インドスタートアップの技術・ビジネスモデルの理解、③将来的な協業・実証・事業連携の可能性探索といった「学びと関係構築」を目的としています。

海外スタートアップとの連携や、インド市場への関心をお持ちの企業様にとって、新たな視点や気づきを得ていただける機会となりますので、ぜひご参加を賜りますようご案内申し上げます。

記

１．**日　時**：令和８年**４月２４日（金）１４：００～１７：３０**（１３：３０～受付開始）

２．**場　所**：在福岡インド総領事館（福岡市博多区中洲中島町1－3　福岡Kスクエア10階）

３．**内　容**：① 14:00~14:15　開会、主催者挨拶
② 14:15~16:45　スタートアップピッチ（16社）
③ 16:45~17:30　ネットワーキング

４．**参加企業**：別紙をご参照ください。

５．**参加申込**：以下のURLまたは右記の二次元コードからお申込みください。
https://forms.office.com/r/Z1UPR6UzR1（参加無料）

６．**申込締切**：４月１７日（金）

インド工業連盟（CII）は、約 9,000 の会員企業と 36 万超の間接会員を持つ、インド最大級の産業団体。125 年以上にわたり、産業振興および政策提言を通じてインド経済の成長を支援している。

CII CIES（Centre of Excellence for Innovation, Entrepreneurship & Startups）は、イノベーション、起業家精神、スタートアップを支援するための産業主導型センター。厳格な審査を経て成長企業を認証するスタートアップ認証プログラムをはじめ、投資家や企業との連携機会の提供、ファミリーオフィス、CxO、政府関係者向けの研修（キャパシティ・ビルディング）プログラムを展開している。また、日本の JICA が実施する NINJA プログラム等の国際連携にも取り組んでおり、**ICONN Summit 2024** では、防衛、医療、電動モビリティなど複数分野において、スタートアップと企業の交流および連携促進を図った。

以上

【本件担当】福岡商工会議所　産業・貿易振興部（田中、于（ウ））
TEL：092-441-2124 / Mail:kokusai@fukunet.or.jp

Startup Delegation to Japan 2026

No.	企業名	分野	設立	所在地	ステージ	主な事業内容
1	Bharath HealthCare (PinnacleAI GPT-OS)	AI 医療 / 小児発達支援	2011	ハイデラバード	成長段階	AI を活用した小児発達支援プラットフォーム。家庭でも専門レベルの療育を可能にする AI 療育システムを提供。
2	Xane AI	自動車 AI	2017	グルガオン	成長段階	自動車や機械のマニュアルを AI で解析し、カメラ・音声・テキストでリアルタイム操作ガイドを提供。
3	ZingHR (Cnergyis Infotech)	HR テック	2014	ムンバイ	成長段階	AI とクラウドを活用した企業向け人事管理プラットフォーム。280 万人以上が利用。
4	Tsuyo Manufacturing	EV 技術	2020	デリーNCR	収益段階	電気自動車のモーター・制御システムなど EV パワートレインの開発・製造。
5	DPhi Technologies Pvt. Ltd. (AI Planet)	AI / エンタープライズ AI	2020	インド・ベルギー	シード段階	企業向けに専用 AI 基盤（AI Brain）を構築し、業務自動化や生産性向上を実現する AI プラットフォームを提供。
6	YogiFi	ヘルステック / IoT	2021	インド	初期成長	AI スマートヨガマットを開発。姿勢分析と個別健康指導を提供。
7	Guna Solar	クリーンエネルギー	2015	チェンナイ	成長段階	企業向け太陽光発電システムの設計・導入・運用を提供。
8	Unstop	HR テック / 採用プラットフォーム	2019	ニューデリー	成長段階	学生・若手人材 3000 万人と企業をつなぐ採用・人材発掘プラットフォーム。
9	MAYU	サステナブル素材 / デザイン	2018	ソラプール	スタートアップ段階	ザクロ由来のヴィーガンレザーなど環境配慮型素材を開発し、ファッションや自動車・家具分野に展開。
10	Nagent AI	AI エージェント	2024	ベンガルール	初期収益	企業業務を自動化する AI エージェントプラットフォームを提供。
11	Cosmoserve Space	宇宙技術	2025	ハイデラバード	シード	宇宙デブリ除去のためのソフトロボット技術を開発。
12	Inconel Technologies (SMYDE)	産業 IoT / 現場 DX	2024	ファリダバード	MVP 段階	ウェアラブル、ボディカメラ、産業制御を統合したプラットフォームで現場作業の可視化・自動化を実現。
13	FreeStand	マーケティングテック	2017	ニューデリー	Pre-Series A	FMCG 企業向け商品サンプリングマーケティングプラットフォーム。

14	GB Tech Service Pvt. Ltd.	IT・AI / 保険・医療 DX	2022	コルカタ / ダラス	スタートアップ段階	保険・医療分野向けに AI とデータ分析を活用した業務自動化・デジタル化ソリューションを提供。
15	Rastaa AI	物流 AI	2022	ベンガルール	初期収益	AI による配送ルート最適化と物流リスク管理ソフトウェア。
16	24thmile Global	B2B 貿易プラットフォーム	2025	プネ / フランクフルト	成長段階	国際取引のマッチング、物流、貿易手続きを統合したプラットフォーム。

1. Bharath HealthCare（PinnacleAI GPT-OS）

分野: AI 医療（小児発達支援）
所在地: インド・ハイデラバード
設立: 2011 年
ステージ: 成長・拡大段階（Scaling Stage）
従業員: 約 1,600 名以上

会社概要

PinnacleAI GPT-OS は、**子どもの発達支援に特化した AI プラットフォーム**を提供する企業です。
16 年間にわたり蓄積された **22 億件以上の医療データ**と、**2,200 万回以上の個別療育セッション**のデータを基に構築されています。
このシステムにより、**発達障害や発達遅れのある子どもに対する療育プログラム**を、家庭でも専門家レベルで実施できるようになります。
主な特徴は以下の通りです。

- **AbilityScore®（能力スコア）**
  子どもの発達状況を 0～1000 の共通指標で評価する独自の指標
- **TherapeuticAI®**
  AI による個別療育プログラムの最適化
- **Everyday Therapy Program**
  家庭で保護者が実施できる療育プログラム

このプラットフォームは、**200 か国・200 言語に対応**しており、世界規模での利用を想定しています。

主な情報

創業者：Dr. Koti Reddy Saripalli
（Microsoft Research、ハーバード・ビジネススクール、スタンフォード大学などで研究経験）

チーム

- インド全土 70 以上のセンター
- 1,600 名以上の認定療法士・医療専門家

ビジネスモデル

- 一般家庭向けサービス（B2C）
- 政府・企業向け AI プラットフォーム提供（B2B / B2G）
- オンラインとリアル施設を組み合わせたサービス

主な顧客

- テランガナ州政府（保健省）
- インド国内 16 万以上の家庭

知的財産・認証

- 16 以上の特許（国際特許含む）
- 医療機器品質規格 ISO13485
- 情報セキュリティ ISO27001

主な実績

- 売上：160 億ルピー以上
- 年成長率：120%
- 臨床改善率：97%
- 通常学校への復帰率：85%

日本での展開可能性

関心分野

- 日本国内での AI 医療プラットフォーム導入
- 日本の医療規制（PMDA）に合わせた共同開発
- 政府間連携
- 戦略投資

日本にとっての価値

日本では少子化が進んでおり、**一人ひとりの子どもの発達支援の重要性が高まっています**。
同社のプラットフォームは、日本の個人情報保護法や医療規制に対応した形で導入可能です。

対象分野

- 小児病院・リハビリ施設
- 厚生労働省の発達支援プログラム
- 企業の従業員家族向け福利厚生
- 大学研究
- 特別支援教育

2. Xane AI

分野: 自動車 AI
所在地: インド・グルガオン
設立: 2017 年
従業員: 約 25 名
ステージ: 成長段階
会社概要

Xane AI は、**自動車や機械のマニュアルを AI で理解し、ユーザーが簡単に操作・修理できるようにする技術**を提供しています。
ユーザーはスマートフォンのカメラを使って機械や車を映すだけで、

- 音声
- 画像
- テキスト

を使った**リアルタイムの操作ガイド**を受けることができます。
これにより、

- 修理や操作のサポートを簡素化
- サービスセンターへの依存を減らす
- 製品機能の利用率を向上

といったメリットがあります。
すでに**日本のスズキ株式会社で実運用されています。**

主な情報

創業者：Ayush Jain
ビジネスモデル：企業向けサービス（B2B）
主な顧客

- スズキ株式会社（日本）
- マルチ・スズキ
- Volkswagen グループ（Škoda）
- Renault Nissan

主な受賞

- Maruti Suzuki Innovation Programme 2019
- Volkswagen iMobilithon 2022
- Renault Nissan Open Innovation Challenge

日本展開

- スズキ日本本社で導入済み

日本での展開可能性

関心分野

- 自動車メーカーとの連携
- OEM 統合
- 投資

日本にとっての価値
AI を使ったアフターサービスを構築することで

- 修理コスト削減
- 顧客満足度向上
- SDV（ソフトウェア定義車両）時代への対応

を可能にします。
対象分野

- 自動車メーカー
- 自動車部品メーカー
- 産業機械
- スマート工場

3. Cnergyis Infotech（ZingHR）

分野: HR テック（人事管理クラウド）
所在地: インド・ムンバイ
設立: 2014 年
従業員: 約 500 名
ステージ: 成長段階

会社概要

ZingHR は、**企業の人事管理をクラウド上で一元管理する HR プラットフォーム**です。
現在

- **1,200 社以上**
- **280 万人以上のユーザー**

が利用しています。
AI とブロックチェーン技術を活用し、

- 人材管理
- 人材評価
- 給与
- 後継者計画

などを統合的に管理できます。
同社の特徴は、**人事データを企業経営の指標と直接結びつける仕組み**です。
例えば

- EBITDA（利益率）
- ESG
- 売上成長
- 人材継承

などの経営指標と人事データを連動させます。

主な情報

創業者：Prasad Rajappan
ビジネスモデル：B2B SaaS
主な顧客

- SBI 銀行（52 万人以上の従業員）
- Reliance
- Deloitte
- DHL
- BPCL
- HDFC
- Burger King
- KFC

支援企業

- Tata Capital
- Microsoft

主な実績

- 1,200 企業導入
- 280 万人ユーザー
- インドの電子税申告システムを開発（2002 年）

日本での展開可能性

関心分野

- 日本企業との提携
- 技術連携
- 日本市場進出
- 投資

日本にとっての価値
日本企業は

- 組織管理
- ガバナンス
- 人材継承

を重視するため、
同社の**経営指標と連動する HR 管理システム**は適合性が高いと考えられます。
対象分野

- 大企業
- 製造業
- 金融
- ホスピタリティ
- 公共機

4. Tsuyo Manufacturing

分野: 電気自動車（EV）パワートレイン
所在地: インド・デリーNCR
設立: 2020 年
従業員: 約 110 名
ステージ: 収益化段階

会社概要

Tsuyo Manufacturing は、**電気自動車のモーターや制御システム（パワートレイン）を開発・製造する企業**です。
インドで設計・開発・製造を行い、**世界基準の品質**を目指しています。
主に

- 商用 EV
- 建設機械などのオフロード車両

向けに技術を提供しています。

主な情報

創業者：Vijay Kumar（CEO）
ビジネスモデル

- B2B
- 技術ライセンス
- ソフトウェアサービス

主な顧客

- Mahindra
- Volvo-Eicher
- Sonalika
- Greaves Cotton

認証

- IATF（自動車品質規格）認証

主な実績

- 約 450 万ドルの資金調達
- 35 以上の特許
- 政府助成金 3 件
- Startup Design Award 2022

日本での展開可能性

関心分野

- 技術提携
- 投資
- 共同開発

日本にとっての価値

EV 市場では、**モーター・電力制御技術の開発スピードが重要**です。
同社は

- 低コスト
- 高性能
- 高い研究開発力

を持つため、日本企業が **EV 技術を迅速に開発するためのパートナー**となる可能性があります。

対象分野

- 電力電子
- EV モーター
- トランスミッション
- 自動車部品メーカー

5. DPhi Technologies（AI Planet）

分野: AI（製造業・金融・製薬向け）
所在地: インド・ベルギー
設立: 2020 年
ステージ: シード段階（Seed Stage）
従業員: 約 35 名

会社概要

AI Planet（DPhi Technologies）は、企業が**自社専用の安全な AI 基盤（AI Brain）**を構築できるプラットフォームを提供する企業です。
同社の「Agentic OS」により、企業は

- AI エージェントの設計
- 導入（デプロイ）
- 運用・拡張

を行うことができ、複雑な業務プロセスの自動化が可能になります。
これにより、

- 業務効率の向上
- コスト削減
- 生産性の向上

を実現します。
対象分野は主に

- 製造業
- 金融サービス
- 製薬業界

です。
また、日本企業である**デンソーとの取引実績**を持ち、すでに日本市場での展開実績があります。
さらに、NVIDIA、Google、Microsoft のスタートアッププログラムにも採択されており、技術力の高さが評価されています。

主な情報

創業者: Chanukya Patnaik
チーム: 35 名
ビジネスモデル: 企業向け AI サービス（B2B）

主な顧客

- デンソー（日本）
- Bajaj Auto Credit
- Akkodis（Adecco グループ）

主な実績

- Fit4Start（ルクセンブルク）助成金 15 万ユーロ獲得
- Startup Chile 採択
- Startit@KBC アクセラレーター参加
- ICONN-NINJA Cohort 1（JICA・CII 共同プログラム）採択

主なパートナーシップ

- NVIDIA Inception Programme
- Google for Startups
- Microsoft for Startups

日本での展開可能性

関心分野

- 日本市場での事業拡大に向けたパートナーシップ
- 次の成長段階に向けた投資

日本にとっての価値

AI Planet はすでにデンソーなどの大手企業と協業しており、日本企業が重視する

- 品質
- 信頼性
- 長期的なパートナーシップ

への理解を有しています。
また、企業専用の AI 基盤を構築できるため、**機密性の高いデータを扱う日本企業にとって適した AI ソリューション**となります。

対象分野：製造業・金融機関・製薬企業

6. YogiFi

分野: ヘルステック / IoT ウェルネス
所在地: インド
設立: 2021 年
従業員: 約 25〜50 名
ステージ: Pre-Series A（初期成長段階）

会社概要

YogiFi は、**AI を搭載したスマートヨガマット**を開発した企業です。
ヨガマットに内蔵されたセンサーとスマートフォンアプリを連携させることで、**リアルタイムで姿勢を分析し、個人に最適な指導を行う**ことができます。
この製品により、

- 正しいヨガの姿勢を AI が分析
- トレーニングの記録・進捗を管理
- 個人に合わせた健康・ウェルネス指導

を自宅で受けることが可能になります。
現在、米国、英国、UAE、ヨーロッパ、日本などで利用されており、**ウェルネス、IoT、デジタルヘルスの分野を融合したサービス**として展開しています。

主な情報

創業者：Muralidhar Somisetty（CEO）※以前に創業した Numocity は 2022 年に ABB に買収
チーム：25〜50 名
ビジネスモデル

- 個人向け販売（B2C）
- 企業・パートナーとの提携
- 世界各国での販売パートナー展開

主な顧客
世界各国の一般消費者
（米国、英国、UAE、ヨーロッパ、日本など）
日本での展開

- Patanjali Japan Foundation と提携
- 日本語対応アプリ提供

主な実績

- CES 2020 Innovation Award 受賞
- Panasonic Ignition 2.0 Award
- 特許 10 件以上
- 2024 年「最も影響力のある起業家賞」

日本での展開可能性

関心分野

- 日本企業との戦略提携
- 販売パートナー
- 投資
- 技術協力

日本にとっての価値
日本では

- 健康管理
- 予防医療
- 自宅フィットネス

への関心が高まっています。
YogiFi は AI を活用し、**個人に最適化された健康管理サービス**を提供できるため、日本市場でも需要が見込まれます。
対象分野

- ヘルステック
- フィットネス
- 予防医療
- スマートデバイス
- 企業の健康管理プログラム

7. Guna Solar

分野: クリーンエネルギー / 気候テック
所在地: インド・チェンナイ
設立: 2015 年
従業員: 約 25 名
ステージ: 成長段階

会社概要

Guna Solar は、**企業や工場向けの太陽光発電システムの設計・導入を行うクリーンエネルギー企業**です。
同社は

- 太陽光発電設備の設計
- 導入
- 運用管理

までを一体で提供しています。
また AI を活用し、**発電効率やエネルギー管理を最適化する技術**を持っています。
顧客の資金状況に合わせて、複数の導入方式を提供している点も特徴です。
例

- 設備購入方式
- リース
- エネルギーサービス契約（EaaS）

主な情報

創業者：Rajesh Rangarajan（太陽光業界で 30 年以上の経験）
チーム：25 名以上
ビジネスモデル

- B2B
- B2C
- Energy as a Service（EaaS）

主な顧客

- Tata Motors
- Siemens Financial Services
- Roca
- Fermator Group

主な特徴

- AI による発電システム最適化
- 蓄電池（BESS）との統合
- インド産業向け再生可能エネルギーソリューション

日本での展開可能性

関心分野

- 日本企業との共同事業
- プロジェクト投資
- 技術連携

日本にとっての価値

インド政府は
2030 年までに再生可能エネルギー500GW
という目標を掲げています。
日本企業は

- 発電事業
- 蓄電池
- 電力管理技術

などの分野で、この市場に参入する機会があります。
Guna Solar は、**インド市場のプロジェクト開発パートナー**として機能する可能性があります。

対象分野

- 再生可能エネルギー開発
- 太陽光機器メーカー
- 蓄電池メーカー
- 電力電子企業
- EV 関連企業
- 総合商社
- 開発金融機関

8. Unstop

分野: HR テック / 人材採用プラットフォーム
所在地: インド・ニューデリー
設立: 2019 年
従業員: 約 150 名
ステージ: 成長段階

会社概要

Unstop は、**学生や若手人材と企業をつなぐオンラインプラットフォーム**です。
現在

- 約 3,000 万人の学生・若手人材
- 35,000 社以上の企業

が参加しています。
企業はこのプラットフォームを通じて、

- コンペティション
- ハッカソン
- テスト
- インターン
- 採用

などのプログラムを実施し、人材を発掘することができます。

主な情報

創業者：Ankit Aggarwal（CEO）
チーム：150 名
ビジネスモデル：B2B SaaS
主な顧客

- Amazon
- Nvidia
- Reliance
- Tata
- Uber
- Walmart

主な実績

- コミュニティ登録者数：3,000 万人
- 企業数：35,000 社
- 実施プログラム：200,000 件以上
- テスト実施数：2,500 万件以上

主な賞

- Best Workforce Enablement Startup 2023
- Startup 50 Trailblazer

日本での展開可能性

関心分野

- 投資
- 技術提携
- 人材エコシステム連携

日本にとっての価値
日本企業が

- インド市場へ進出
- IT 人材を採用
- 若手人材と接点を持つ

際に、**大規模な人材プラットフォームとして活用できる可能性があります。**

対象分野

- HR テック
- 教育
- 人材採用

9. MAYU

分野: ライフスタイル / デザイン / サステナブル素材
所在地: インド・ソラプール
設立: 2018 年
ステージ: スタートアップ段階
従業員: 約 5 名

会社概要

MAYU は、**持続可能な素材とデザインを軸にしたライフスタイルブランド**です。
「環境に配慮したデザイン（コンシャスデザイン）」と「責任ある消費」をコンセプトに、バッグやアクセサリーを展開しています。
特徴は、従来の皮革に代わる**新しいサステナブル素材の開発・活用**です。
具体的には、

- 魚の皮を活用したレザー
- 環境負荷の低い代替レザー素材

などを用いた製品を開発しています。
特に注目されるのが、現在開発中の
「ザクロの皮から作る植物由来ヴィーガンレザー」
です。
これは、

- 従来の革の代替となる新素材
- 大量生産が可能
- 環境負荷が低い

という特徴を持ち、

- ファッション
- 自動車内装
- 航空機内装
- 家具

など幅広い分野での活用が期待されています。
同社は、こうした素材を軸に、**循環型（サーキュラー）デザインの推進**を目指しています。

主な情報

創業者：Mayura Davda-Shah
チーム：5 名

ビジネスモデル

- 企業向け（B2B）：素材開発・共同開発・パートナーシップ
- 個人向け（B2C）：バッグ・アクセサリー販売

主な顧客・取引先

- AJIO Luxe
- TATA CLiQ Luxury
- Anaita Shroff Adajania
- Vogue India

主な実績

- TBFI Singapore 採択
- UN Women Industry Disruptor Incubator 採択
- Purdue Engineering 38 by 38 選出
- Navbharat India Social Impact Innovator Award

主な技術・イノベーション

- ザクロの皮から作る植物由来ヴィーガンレザー（ファッション、自動車、航空、家具などに応用可能な次世代素材）

日本での展開可能性

関心分野

- パートナーシップ
- 投資
- 合弁事業（JV）
- 技術交流

- 素材開発の共同研究
- デザイン協業
- 日本市場への参入

日本にとっての価値

MAYU の開発する植物由来レザーは、

- 環境配慮（サステナビリティ）
- デザイン性
- 産業応用の幅広さ

を兼ね備えています。

日本は

- 建築・デザイン分野の高い品質
- 伝統工芸
- 自動車産業
- 高機能素材開発

といった強みを持つため、同社の素材は**日本の産業・デザイン分野との親和性が非常に高い**と考えられます。

対象分野

- ファッション・テキスタイル
- 自動車内装デザイン
- 家具・インテリア
- 先端素材開発・製造
- 航空機内装

10. Nagent AI

分野: AI（エージェント AI）
所在地: インド・ベンガルール
設立: 2024 年
従業員: 約 17 名
ステージ: 初期収益段階

会社概要

Nagent AI は、**企業業務を自動化する AI エージェントを提供する企業**です。
AI エージェントとは、
人間の代わりに

- 調査
- マーケティング
- コンテンツ作成
- 業務処理

などを行う AI システムです。
企業は専用のツールを使い、**プログラミングなしで AI エージェントを作成**できます。
導入企業では、
コンテンツ制作コストを最大 60%削減
するなどの成果が出ています。

主な情報

創業者：Pratap Behera（CEO）
チーム：17 名
ビジネスモデル：B2B SaaS
主な顧客

- Flipkart
- Emami Group
- BigBasket
- USM Systems

支援機関

- T-Hub Hyderabad
- Startup India Seed Fund
- IIT Mandi 研究連携

主な成果

- コンテンツ制作コスト最大 60%削減
- AI エージェント関連特許 2 件出願

日本での展開可能性

関心分野

- 日本企業との実証実験（PoC）
- 投資
- 技術提携
- 日本向け AI エージェント共同開発

日本にとっての価値

AI エージェントは

- 製造業
- 物流
- 商社
- 小売

などの企業で、**業務効率化と自動化**に活用できます。
企業データを活用しながら、**安全で継続的に改善される AI 運用**を実現できます。

対象分野

- 自動車・製造業
- 物流
- 商社
- 小売
- 金融
- メディア・ゲーム

11. Cosmoserve Space

分野: 宇宙技術
所在地: インド・ハイデラバード
設立: 2025 年
従業員: 約 15 名
ステージ: シード段階（Seed Stage）

会社概要

Cosmoserve Space は、**宇宙空間に存在する人工衛星の残骸（スペースデブリ）を回収する技術**を開発している宇宙技術企業です。
宇宙には、運用を終えた人工衛星や破片が増え続けており、将来的な宇宙開発や衛星運用にとって大きな問題となっています。同社は、この問題を解決するための **Active Debris Removal（ADR）技術**を開発しています。
特徴的なのは、**生物の動きを模倣した柔らかいロボット技術（ソフトロボティクス）**を利用し、軌道上の物体を安全に捕捉する技術です。
この技術は**TRL7（技術成熟度レベル 7）**に達しており、宇宙デブリ除去技術としては非常に高い開発段階にあります。

主な情報

創業者：Dr. Chiranjeevi Phanindra Banala（CEO）
チーム：15 名
（元 ISRO〈インド宇宙研究機関〉の技術者を含む）

ビジネスモデル

- B2B（民間企業）
- B2G（政府・宇宙機関）

主な顧客

- Space Inventor（デンマーク）
- Pixxel（米国）

主な実績

- プレシード資金：317 万ドル調達
  （宇宙スタートアップとしては非常に早い段階での大型調達）
- ADR 技術：TRL7
- AWS Galactic Pitch 優勝
- TiE50 選出

インキュベーション

- T-Hub
- TWorks

日本での展開可能性

関心分野

- 技術提携
- 投資
- 戦略パートナーシップ

日本にとっての価値

宇宙デブリ除去は、日本の宇宙機関 JAXA も研究を進めている重要分野です。
Cosmoserve は

- コスト競争力の高い技術
- 実用化段階に近いシステム

を持っており、**共同ミッションや商業サービスでの協力**が期待されます。

対象分野

- 宇宙運用
- ロボティクス
- AI / 機械学習
- コンピュータビジョン
- 衛星サービス

12. Inconel Technologies（SMYDE）

分野: 産業 IoT / リモートオペレーション
所在地: インド・ファリダバード
設立: 2024 年
ステージ: MVP 段階（Minimum Viable Product）
従業員: 約 8 名

会社概要

Inconel Technologies は、**現場作業（フィールドオペレーション）の遠隔管理と安全性向上を実現する産業向け IoT プラットフォーム**を開発している企業です。
多くの産業現場では、

- 古い設備（レガシー機器）の利用
- 手作業による監視
- 現場依存の運用

が一般的であり、

- 安全リスク
- 状況把握の遅れ
- ダウンタイム（停止時間）の増加

といった課題が存在します。
同社はこれらの課題を解決するため、「SMYDE」という統合型プラットフォームを提供しています。
SMYDE は、以下の 3 つの製品で構成されています。

- **SmydeCom :** 通信・建設現場作業員向けのスマートウェアラブル端末
- **SmydeCam**：法執行機関や現場作業員向けのボディカメラ
- **SmydeAuto**：ノーコードで利用可能な産業用制御システム（PLC）

これにより、

- 現場のリアルタイム監視
- 作業の可視化
- 自動化

を一体で実現します。
また、このような**統合型の遠隔オペレーションプラットフォームは世界でも先進的な取り組み**とされています。
現在、Nokia が主要顧客として導入を進めており、**大企業レベルでの実運用が可能な技術であることが確認されています。**

主な情報

創業者：Prashant Rana（CEO）
チーム：8 名
ビジネスモデル：企業向け（B2B）
主な顧客：Nokia（通信分野の現場運用で導入）

主な実績

- Startup Seed Fund 採択
- 知的財産（IP）出願中
- 統合型 Remote Operations Intelligence プラットフォームを開発

主な製品

- SmydeCom（スマートウェアラブル）
- SmydeCam（ボディカメラ）
- SmydeAuto（ノーコード PLC）

日本での展開可能性

関心分野：投資・戦略的パートナーシップ

日本にとっての価値

日本でも

- 建設・製造・インフラ分野における人手不足
- 現場の安全管理
- 業務のデジタル化

が重要な課題となっています。
SMYDE は、

- 現場のリアルタイム可視化
- 作業の自動化
- 安全性の向上

を同時に実現できるため、**日本の産業分野における DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に貢献する可能性があります。**

対象分野：自動車産業・通信インフラ・電力・送電・建設・製造業

13. FreeStand Sampling Solutions

分野: マーケティングテクノロジー（Mar-Tech）
所在地: インド・ニューデリー
設立: 2017 年
従業員: 約 50 名
ステージ: Pre-Series A

会社概要

FreeStand は、**消費財メーカー（FMCG 企業）が消費者に直接商品サンプルを配布できるマーケティングプラットフォーム**を提供する企業です。
企業はこのプラットフォームを利用することで、

- 商品サンプル配布
- ターゲット顧客の特定
- マーケティングデータの収集
- 消費者分析

などを一括して実施できます。
これにより、メーカーは**消費者と直接つながるマーケティング**を行うことが可能になります。

主な情報

創業者

- Konark Sharma
- Sneh Soni

チーム

- 直接雇用：10 名
- 関連スタッフ：40 名

ビジネスモデル：B2B（企業向けマーケティングプラットフォーム）

主な顧客

- Hindustan Unilever
- L'Oréal
- Nestlé
- MARS
- Godrej

主な実績

- 約 4.9 億ルピーの資金調達
- AFAQs「Best Product Sampling」受賞（2024・2025）
- ET Brand Equity Award 2024

主なアクセラレーター

- Google Startup Accelerator
- IIM-CIP
- ISB I-Venture
- SIDBI Venture Capital

日本での展開可能性

関心分野

- 日本 FMCG 企業との連携
- 投資
- 物流・配送企業との技術連携

日本にとっての価値

FreeStand は

- 商品サンプリング
- 消費者データ収集
- マーケティング分析

を統合したプラットフォームを提供しており、**精密マーケティングを重視する日本の消費財企業にも適用可能**です。

対象分野

- FMCG
  （ペット用品、ベビー用品、化粧品、栄養食品など）
- メディア・広告代理店

14. GB Tech Service

分野: IT・ソフトウェア（保険・医療・エンタープライズ AI）
所在地: インド・コルカタ / 米国・ダラス
設立: 2022 年
ステージ: スタートアップ段階
従業員: 約 24 名

会社概要

GB Tech Service は、**保険・医療分野を中心に、AI とデータ分析を活用したソフトウェア開発を行う企業**です。
企業が抱える
- 業務の複雑さ
- データ活用の遅れ
- 非効率な業務プロセス

といった課題に対し、
- データ分析
- 業務自動化
- AI 活用

を組み合わせて、**業務効率化と意思決定の高度化**を支援します。
特に以下の分野に強みを持っています。
- 保険業務（保険金請求処理など）
- 医療保険・福利厚生管理
- 規制対応・報告業務

これにより、保険会社や医療関連企業における**複雑な業務の簡素化とデジタル化**を実現します。

主な情報

創業者：Anupam Biswas（CEO）
チーム：24 名

ビジネスモデル
- B2B
- SaaS（クラウド型サービス）

主な顧客
- Brookshire Brothers Inc.
- Nexcaliber Inc.

主な実績
- Best Export-Oriented MSME（2025 年）受賞
  （BCCI Atmanirbhar Bharat Conclave & Awards）

主な技術・強み
- 保険金請求処理の自動化
- 加入者管理（Enrolment）の効率化
- 規制報告の自動化
- AI によるデータ分析（保険・医療分野）

日本での展開可能性

関心分野
- パートナーシップ
- 技術連携

日本にとっての価値

日本の企業では、
- レガシーシステムの更新
- データ活用の高度化
- 業務効率化

が重要課題となっています。
GB Tech Service は、これらに対して
- AI 導入
- システム刷新

- データ分析

を組み合わせたソリューションを提供し、**デジタルトランスフォーメーション（DX）を加速**させることが可能です。
また、開発コストや運用コストの削減にも貢献します。

対象分野

- 保険
- 医療
- 製造業
- データ分析分野

15. Rastaa AI

分野: 物流 AI / SaaS
所在地: インド・バンガロール
設立: 2022 年
従業員: 約 6 名
ステージ: 初期収益段階

会社概要

Rastaa AI は、**物流ルートの最適化を行う AI ソフトウェア**を開発している企業です。
多くの物流企業では、配送ルートの決定が

- 経験
- 勘
- 現場知識

に依存していることが多く、効率が十分ではありません。
Rastaa AI は、AI を使って

- 遅延予測
- 渋滞
- 配送リスク

などをリアルタイムで分析し、**最適な配送ルートを自動で計算します。**
また、トラブルが発生した場合も**自動で代替ルートを提案**します。

主な情報

創業者：Sravan Kumar Davuluri
チーム：6 名
ビジネスモデル：B2B SaaS
主な顧客

- Sid's Farm
- Apollo Pharmacy

支援機関

- Indian School of Business（ISB）

主な実績

- AI によるリアルタイム配送ルート最適化
- 食品・医薬品物流でコスト削減実績

日本での展開可能性

関心分野

- 投資

日本にとっての価値
日本では

- 物流人手不足
- 配送効率化

が重要課題となっています。
同社の AI は、**物流コスト削減と配送精度向上**に活用できる可能性があります。
対象分野

- 食品物流
- 3PL 物流企業
- 医薬品物流

16. 24thmile Global

分野: B2B 電子商取引 / 国際貿易プラットフォーム
所在地: インド（プネ）・ドイツ（フランクフルト）
設立: 2025 年
従業員: 約 23 名
ステージ: 成長・拡大段階

会社概要

24thmile Global は、**国際貿易を支援する B2B プラットフォーム**を提供しています。
世界の企業が海外企業と取引する際には、

- 詐欺リスク
- 貿易手続き
- 物流調整

など多くの課題があります。
同社のプラットフォームは、

- 信頼できる企業のマッチング
- 貿易手続き（EXIM）
- 物流
- 倉庫
- ラストマイル配送

までを一体で提供します。

主な情報

創業者：Vinayak Temgire（CEO）
チーム：23 名
ビジネスモデル：B2B
主な顧客

- 工業製品メーカー
- 自動車関連企業
- 特殊製品メーカー

主な実績

- Startup India 認定（2021）
- CII Award 2023
- インド・ドイツ両拠点による欧州貿易ネットワーク

提供サービス

- 貿易手続き
- 物流管理
- 倉庫管理
- 最終配送

日本での展開可能性

関心分野

- 日本の製造業との連携

日本にとっての価値
このプラットフォームにより、日本企業は

- 海外バイヤーの発掘
- 貿易リスク削減
- 貿易手続きの簡素化

が可能になります。
対象分野

- 工業製品
- 自動車部品
- 特殊製品